

令和元年度行政事業レビュー 公開プロセス対象候補事業リスト

(単位:百万円)

府省名	警察庁	公開プロセス開催日			6月18日	事業概要	具体的な選定理由	想定される論点	備考欄
		平成30年度 補正後予算額	令和元年度 当初予算額	選定基準					
007	警察電話専用料	3,636	4,678	ア	警察業務に必要な不可欠な情報を伝達するため、電気通信事業者の専用回線を利用し、警察庁、管区警察局、警察本部、警察署等を結ぶ全国的なネットワークを構成するもの。	事業規模が大きい長期継続事業であり、毎年度、相応額の概算要求を行うことが見込まれるため。	○調達について改善の余地はないか。		
067	サイバー空間における脅威に対処するための資機材の整備	1,365	1,171	ア	高度化・複雑化するサイバー空間の脅威に的確に対処するため、捜査用資機材及び技術的な支援に係る情報技術解析用資機材の整備等を実施する。	長期的・継続的に推進すべき事業であり、毎年度、相応額の概算要求を行うことが見込まれるため。	○資機材の整備計画は適切なものとなっているか。 ○調達について改善の余地はないか。		
027	第一線警察における科学捜査力の強化	627	985	ア	鑑識・鑑定資機材の更新及び高度化した科学技術を用いた資機材を整備することにより、迅速な事件検挙や公判における的確な犯罪立証を図る。	犯罪捜査における鑑識活動の重要性に鑑み、今後も資機材の更新整備を進める必要があり、毎年度、相応額の概算要求を行うことが見込まれるため。	○資機材の整備計画は適切なものとなっているか。 ○調達について改善の余地はないか。		
035	特殊詐欺に係る警告電話事業	53	53	ア	特殊詐欺対策を推進するため、犯行に使用された電話番号に繰り返し架電し、事実上使用不能とするとともに、電話がつながった際には警告メッセージを流す警告電話事業を実施するもの。	昨今の特殊詐欺に係る情勢を踏まえ、今後も継続的に特殊詐欺対策を行う必要があるところ、事業の効率性について確認する必要がある。	○調達について改善の余地はないか。		

(注)選定基準欄は、「行政事業レビュー実施要領」の第2部3(1)①のア～オのいずれに該当するかについて記載する。

○「行政事業レビュー実施要領」(抄)

第2部3(1)①

- ア 事業の規模が大きく、又は政策の優先度の高いもの
- イ 長期的又は継続的に取り組んでいる事業等で、執行方法、制度等の改善の余地が大きいと考えられるもの
- ウ 事業の執行等に関して、国会の審議はもとより、会計検査院、総務省行政評価局、マスコミなど内外から問題点を指摘されたもの
- エ 現年度に政策評価における実績評価の対象となる施策に関連するもの(複数も可)
- オ その他公開の場で外部の視点による点検を行うことが有効と判断されるもの